

第20回日本マングローブ学会平成26年度大会プログラム

平成26年11月22日（土）東京農業大学世田谷キャンパス 1号館242教室

9:30 受付開始

- 10:00-10:20 マングローブ再生林の間伐による育成と地域の再生可能資源としての有効 利用を目指した森林管理モデルの作成に関する研究
沖元洋介(北海道大学農学部)
- 10:20-10:40 環境教育とマングローブ – 高校教育に見るマングローブの認識度 –
皆川礼子 (明治大学農学部)
- 10:40-11:00 マングローブ植物のインビトロバイオアッセイによるアレロパシー活性比較
笹本浜子 (横浜国立大学)
- 11:00-11:20 西表島船浦湾における*Rhizophora stylosa* 林の細根生産量と潮汐環境の関係
小川知美 (名古屋大学大学院)
- 11:20-11:40 フィリピンバタン湾における養殖池への転換による残存マングローブ林の可能性
小川裕也(京都大学農学部)
- 11:40-12:00 ベトナム、カンザー地区におけるマングローブ再造林プロジェクトと日越交流の13年間
石原修一 (帝京大学高等学校、南遊の会)

12:00-13:00

昼 食

日本マングローブ学会役員会 (1号館243教室) 12:00-13:00

- 13:00-13:20 マングローブ湿地利用の場所性と構造的性
– ベトナム・カンザ地区ロンホア村の「中継地点」と呼ばれる場所での観察から –
大友萌子 (東北学院大学大学院)
- 13:20-13:40 ヒルギダマシ (*Avicennia marina*) 胎生芽の分散と定着, 群落拡大の要因
谷口真吾 (琉球大学農学部)
- 13:40-14:00 ミクロネシア連邦ポンペイ島のエスチュアリ型マングローブ林における20年間の森林動態と海面上昇の
森田茅裕 (南山大学)

14:00-16:00

公開特別講演 (1号館242教室)

マレーシア・ボルネオ島のマングローブ林の現状と再生への取り組み
ジョセフ・タンガ博士 (サバ州森林局)

司会 馬場繁幸 (ISME)

16:00-16:30

総会 1号館242教室

16:40-18:40

懇親会 1号館2階